



明小だより

平成22年6月
横須賀市立明浜小学校
校長 渡辺 文
NO. 3

成長を支える 笑顔と拍手を

6月12日の土曜参観には、たくさんのご来校ありがとうございました。

子どもたちや学校全体の様子を見ていただけたと思います。今年度は、給食を実施し、できるだけ普段どおりの授業を参観していただけるよう考えましたが、子どもたちは、お家の方々の多さによりうれしさと驚きで、“普段どおり”ではなく、緊張していたり、張り切りすぎていたりという状態だったようにも感じました。

さて、今、学校教育では、《言語活動の充実》が求められ、自分の思いや考えを表現したり、ことばとして伝え合ったりする活動が重要視されています。これは、心の中にある様々な思いや考えを、上手に家族・友人など周囲の人々に説明したり、伝えたりできず、感情をストレートに出しすぎた行動や、無差別的な行動をとったりする事件が増える傾向があることも影響しています。

事実を正確に理解する力や、他者との対話を通して自己を表現し他者を理解する力、感性を豊かにすると同時に感情をコントロールする力を育てていくことが、必要であると考えられています。

今回の授業の中にも、個人の思いや意見を発表したり、グループやクラスで取り組んだことを発表したりと、たくさんの言語活動がありました。ゆっくり見ていただけたでしょうか。

ところで、この、言語活動では、他者とのかわりが必要になりますが、人前で話したり演奏したりすることは、とても緊張することです。特に、高学年になると自分が他者からどう見られるかが気になり、発言・発表を避けたい気持ちが大きくなりがちです。上手くできないかもという不安、恥ずかしさや照れ、自分だけが目立ってはいけないという配慮(?)などは、多くに人々の視線が、自分や自分のことば、演技・演奏に集まっていることを感じる事ができ、自分自身を少しだけ俯瞰できるまでに成長しているからこそその感情です。

このような不安や恥ずかしさなど、行動を起こす際のマイナス要因となる感情＝緊張感を味わいながらも、それを乗り越えて自分の思いや取り組みを発表することへ挑戦し、自分が行ったことへの成就感や達成感、また、結果が思ったとおりではなくても、挑戦した自分への満足感などプラスの感情を味わうことが、日々心身共に成長する今、この時、一人一人の子どもたちに必要なことなのだと思います。マイナスとプラスの感情を、両方味わうからこそ、心が、強く豊かに育っていくことになるのです。

そして、ここで大事なのが、お家の方の、“笑顔と拍手”です。お子さんの様子をしっかり見届け、よかった部分、頑張った部分を、機を逃さず褒め、一緒に喜ぶこと。これが大事であり、必要なのです。

今後も、様々な学校生活をご覧いただける機会があります。是非、一步一步マイナス要因を乗り越え、成長しようとしているお子さんへの“笑顔と拍手”をお願いいたします。

学校の様子

その1 ケータイ安全教室

6月4日（金）に、5・6年生を対象に携帯電話について学ぶ授業を行いました。

本校では、携帯電話を学校に持ってくることは禁止となっていますが、家族が所有しているものも含め、子どもたちの身近に携帯電話があり、この教室でも「携帯を使ったことがある人」を尋ねるとほとんどの子どもたちが手を挙げました。

子どもたちに持たせるのは、まだまだとお考えのお家が大多数と思いますが、将来使用することも予想され、多様な機能を持っている携帯電話を、必要になったときに正しく安全に使えるよう、通信機器に詳しい方をお招きし授業しました。

参観された保護者の方もいらっしゃいましたが、映像を交えながらルールやマナーの必要性と説明、個人情報や人権を守ることの大切さや犯罪に巻き込まれる危険性など、たくさんの内容に、じっくり聞き入っていました。

その2 たてわり活動開始

今年もたてわり活動が始まりました。第1回目の6月17日（木）は、自己紹介を兼ねたゲームを行いながら、メンバーの確認です。はじめは、何をしたらいいのか、どんなお兄さん・お姉さんたちかと、少々低学年は、不安そうに様子をうかがっていたようですが、後半になると、笑顔が見られるようになり、「またねー！」と次回9月10日（金）への期待が膨らんだようです。

6年生がリードしながら



創立50周年を迎えて

7月3日のバザーにご協力ありがとうございます！

前回お伝えした、校章をかたどった航空写真の撮影は、好天の中、実施することができました。仕上がりは先日の土曜参観の時に、掲示してありましたが、ご覧いただけただでしょうか。

掲示してあった写真とは違う写真を下敷き又はクリアファイルにして、子どもたち一人一人に記念としてPTAから配布される予定です。

さて、先日5年のあるクラスが、校長室に「『明浜』という名前はどのようにつけられたのですか」という質問をしにきました。そこで、今回は、地名についてお伝えしようと思います。

「明浜」・・・内川新田の小字にあった地名。“開かれた土地の海辺”を言うのだそうです。

「内川新田」・・・これは砂村新左衛門の開拓によって、前にあった大川・吉井川・佐原川の3つの川が合流され、その合流点を内川と呼びました。そして、地名として内川砂村新田と呼ばれていましたが、その砂村がとられて内川新田となったようです。

「久里浜」・・・久里の浜から縮められてできたといわれていて、「久里」は岩のあるところ、「浜」は海岸を意味しています。久里浜海岸沿いやアシカ島には岩が見られることから、この名前になったようです。

「久村」・・・“久里浜村から分かれた村”から、久里浜の久と村で久村になったようです。

「佐原」・・・佐は、狭い土地を、原は平地を表しているの、狭い平地の意味からつけられたと言われています。

